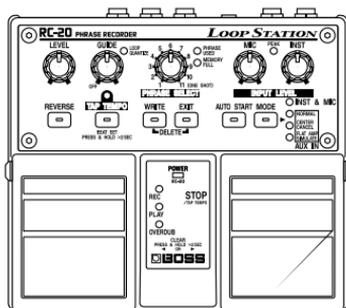


取扱説明書

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.29 ~ 31)「使用上のご注意」(P.32 ~ 33)をよくお読みください。

また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

本体裏の「ミニ・ガイド」に、使いかたの簡単な説明があります。操作方法を思い出すときのヒントとしてお使いください。



主な使いかた

RC-20 の使いかた例です。この他にも自由なアイデアで演奏をお楽しみください。

「サウンド・オン・サウンド」のパフォーマンス

ギターだけでなく、ボーカル、パーカッション、ドラム・パッドなどの演奏を組み合わせた新しいサウンド・オン・サウンド  P.10

ループ・フレーズの作成

サンプリング CD や MD などからフレーズの素材を録音し、その上にギターやボーカルなどをオーバーダビング  P.12

ループを切り替えながらのライブ演奏

R&B やテクノ系のループ・フレーズを複数記録しておき、順番に切り替えて演奏 (フレーズ・シフト).....  P.20

フレーズ・トレーナーとして

CD や MD からまるごと録音したフレーズを再生しながらのギター・プレイ.....  P.16

ピッチを変えずにテンポだけを変えて練習  P.19

録音時にギター・ソロやボーカルを消すことによって、練習用のマイナス・ワン・データの作成 (センター・キャンセル).....  P.18

バックアップ・マシンとして

フレーズのスタート/ストップや切り替えをペダルでコントロールするフレーズ・プレーヤー (ワン・ショット再生).....  P.16

ライブでのギミック・プレイに

録音したフレーズをリバース再生.....  P.21

主な特長

簡単、確実なループ・プレイ

新機能「ループ・クオンタイズ」によって、ループ・エンドのタイミングを自動調節します。これにより、誰でも簡単に正確な長さのループ・フレーズを作ることができます。

最長録音時間 5 分 30 秒の長時間フレーズ・レコーディング

最大 10 種類のループ・フレーズと 1 種類のワン・ショット・フレーズを、合わせて 5 分 30 秒まで保存できます。

フレーズのテンポをリアルタイムでコントロール

フレーズのピッチ（音程）を変えずに、テンポをリアルタイムにコントロールすることができます。これにより、本体メモリーに保存したフレーズをライブ演奏のテンポに追従させることが可能となり、ライブ性が飛躍的に向上しました。また、テンポをおとしたギター・フレーズの練習でも威力を発揮します。

マイク専用入力により、ボーカリストにも対応

INST ジャックと MIC ジャックは同時に使用できるため、ギターとボーカル、パーカッションなどを織り交ぜた全く新しいサウンド・オン・サウンドが可能です。

CD / MD からのオーディオ信号を簡単に録音

AUX IN ジャックに接続した CD や MD からのオーディオ信号を簡単に録音できます。また、録音時にオーディオ信号からボーカルやギター・ソロなどを消すこともできるので、マイナス・ワン・データも簡単に作成できます。

ペダル・タイプならではのハンズフリー操作

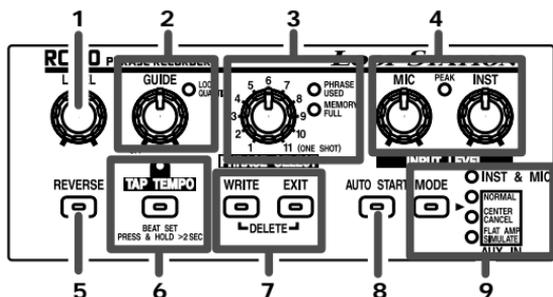
ギターから手を離すことなく、演奏のスタート/ストップ、フレーズの切り替え、テンポの設定などをペダルでコントロールできます。

目次

主な特長	2
目次	3
各部の名称と働き	4
電池の入れかた	7
接続のしかた	8
電源を入れる / 切る	9
重要 <電源を切るときの注意>	9
ギターやボーカルの演奏を録音してフレーズ・ループを作る	10
CD / MD などからフレーズを録音してフレーズ・ループを作る	12
保存したフレーズに合わせて演奏 / オーバーダビングする	16
練習に活用する ~ フレーズ・トレーナー ~	18
マイナス・ワン・データを作る	18
テンポを変えて練習する	19
さまざまな再生のしかた	20
ペダルを使ってフレーズを切り替える (フレーズ・シフト)	20
フレーズを逆再生する (リパース再生)	21
フレーズを一度だけ再生する (ワン・ショット再生)	21
フレーズの保存と消去	22
メモリーについて	22
ライト・プロテクト・モード	22
フレーズを保存する	23
保存したフレーズを消去する (デリート)	23
テンポと拍子について	24
テンポを設定する	24
拍子を設定する	25
ループ・クォンタイズとは	25
ガイド音について	26
故障と思う前に	27
主な仕様	28
安全上のご注意	29
使用上のご注意	32
索引	34

各部の名称と働き

フロント・パネル



1

LEVEL つまみ

再生するフレーズの音量を調節します。

INST / MIC / AUX IN ジャックからの入力レベルやガイド音の音量は調節しません。

2

GUIDE つまみ

フレーズの録音 / 再生時に、テンポに従って鳴るガイド音の音量を調節します。

LOOP QUANTIZE インジケーター

ループ・クオンタイズ機能 (P.25) が有効な場合に点灯します。

3

PHRASE SELECT つまみ

保存 / 再生するフレーズ・トラックを選びます。

PHRASE USED インジケーター

選択したトラックにフレーズが保存されているとき、点灯します。

MEMORY FULL インジケーター

本体メモリの残り容量が少なくなると点灯します (P.27)。

フレーズの保存時に、残り容量が足りない場合は点滅します。

4

MIC つまみ

MIC ジャックからの入力レベルを調節します。

INST つまみ

INST ジャックからの入力レベルを調節します。

PEAK インジケーター

入力レベルが基準より大きくなった場合に点灯します。

5

REVERSE ボタン

フレーズをリバース再生 (P.21) するときはオン (インジケーター点灯) にします。

6

TAP TEMPO ボタン

テンポや拍子を設定します。

テンポ、拍子に合わせてインジケーターが点灯します (1 拍めは赤色、その他の拍は緑色)。

・テンポ

ボタンを押すタイミングでテンポを設定します (P.24)。

・拍子

ボタンを 2 秒以上押しと、拍子設定モードに切り替わります。その後、ボタンを押した回数で拍子が決まります (P.25)。

7

WRITE ボタン

- 録音したフレーズを本体メモリーに保存します (P.23)。
- WRITEボタンとEXITボタンを使って、選択しているフレーズ・トラックの内容を消去 (デリート) することができます (P.23)。

EXIT ボタン

フレーズの保存 / 消去を中止します。

8

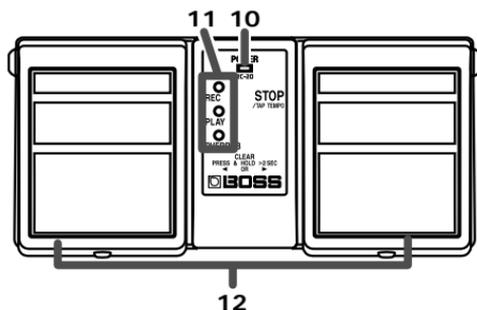
AUTO START ボタン

演奏開始と同時に録音を始めるときはオン (インジケーター点灯) にします。

9

MODE ボタン

録音の方法を選びます。



10

POWER インジケーター

電源がオンのとき、点灯します。

電池が消耗してくると、POWER インジケーターが暗くなります。その場合は新しい電池と交換してください。

11

REC インジケーター

録音時に点灯します。

PLAY インジケーター

フレーズの再生時に点灯します。

OVERDUB インジケーター

オーバーダビング時に点灯します。

12

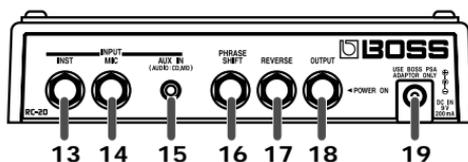
左ペダル

- フレーズの録音、再生、オーバーダビングを切り替えます。
フレーズが記録されていないフレーズ・トラック：録音 再生 オーバーダビング
フレーズが記録されているフレーズ・トラック：再生 オーバーダビング
- 2 秒以上ペダルを踏むと、保存前のフレーズを消去します。

右ペダル

- フレーズの録音、再生、オーバーダビングを停止します。
- ペダルを踏むタイミングでテンポを設定できます。
- 2 秒以上ペダルを踏むと、保存前のフレーズを消去します (クリア ; P.22)。

リア・パネル



13

INST ジャック

ギターなどの楽器を接続します。

14

MIC ジャック

マイクを接続します。

マイクを通して、ボーカルやその他の楽器の演奏を録音するときに使います。

15

AUX IN ジャック

CD、MDなどのヘッドホン・ジャックと接続します。

16

PHRASE SHIFT ジャック

フレーズ・トラックをペダルで切り替えるとき、ペダル・スイッチ(別売: FS-5U、Roland DP-2 など)を接続します。

17

REVERSE ジャック

フレーズのリバース再生をペダルで行うとき、ペダル・スイッチ(別売: FS-5U、Roland DP-2 など)を接続します。

18

OUTPUT ジャック

ギター・アンプやスピーカーなどを接続します。

電池で使用する場合は、OUTPUT ジャックにアンプやスピーカーなどの接続プラグを差し込むと、電源がオンになります。

注意: OUTPUTジャックにヘッドホンを接続してはいけません。ヘッドホンを破壊する恐れがあります。

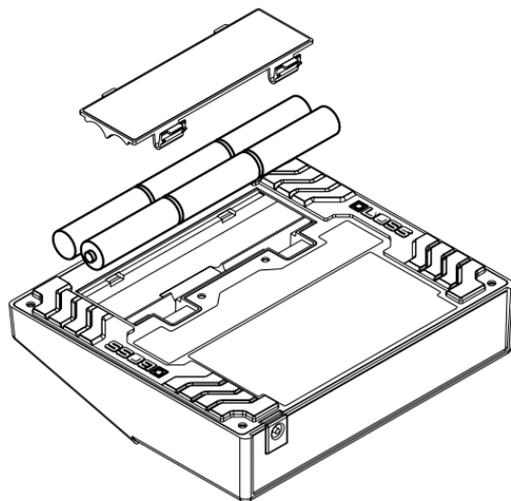
19

AC アダプター・ジャック

AC アダプター(別売: BOSS PSA-100)を接続します。

電池の入れかた

図のように、電池の向きに注意して付属の電池を入れます。



ご注意!

- 電池の + (プラス) と - (マイナス) を間違わないように入れてください。
- 電池が消耗してくると、POWER インジケーターが暗くなります。その場合は新しい電池と交換してください。
- 録音中やオーバーダビング中などに電源が切れると、保存していたデータがすべて失われることがあります (P.9)。電池切れに備えて、AC アダプターとの併用をお奨めします。
- 電池交換の際は、単 3 電池を 6 本使用してください。
- 電池は、新しい電池と一度使用した電池や種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。液漏れの原因となります。
- 電池の種類によっては、使用時間が短くなる場合があります。

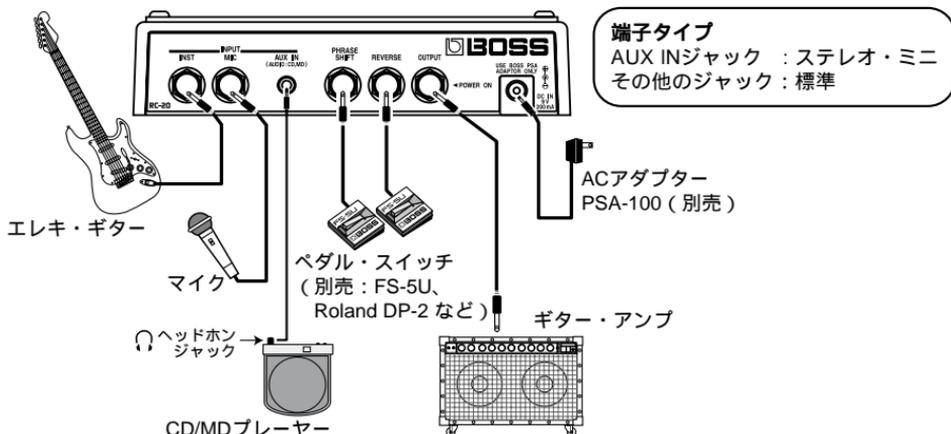


連続使用時の電池の寿命 (使用状態によって異なります)

マンガン電池 約 9 時間

アルカリ電池 約 25 時間

接続のしかた



他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

AC アダプターを使用する場合でも電池を入れておくと、万一 AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。

電池で使用する場合は、OUTPUT ジャックにアンプやスピーカーなどの接続プラグを差し込むと、電源がオンになります。

電池の入れかたは、「電池の入れかた」(P.7)をご覧ください。

PHRASE SHIFT ジャック、REVERSE ジャックに接続するペダル・スイッチについて詳しくは (P.20、21) をご覧ください。

OUTPUT ジャックにヘッドホンを接続してはいけません。ヘッドホンを破壊する恐れがあります。

マイクとアンプの位置によっては、ハウリング音(キーンという音)がでることがあります。その場合は、以下のように対処してください。

1. マイクの向きを変える
2. マイクをスピーカーから遠ざける
3. 音量を下げる

マイクとアンプが近づいていると、アンプからの再生音をマイクが拾うことがあります。このような状態で録音やオーバーダビングを行うと、マイクが拾ったアンプの再生音も記録されます。アンプとマイクを離すなどして、マイクがアンプからの再生音を拾わないようにしてください。

電源を入れる / 切る

正しく接続したら、必ず以下の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

電源を入れるとき：アンプやミキサーなどの電源は**最後**に入れてください。

電源を切るとき：アンプやミキサーなどの電源を**最初**に切ってください。



フレーズのあるトラック（PHRASE USED インジケーターが点灯するトラック）が選ばれている状態で電源を投入すると、LED 表示が流れた後に PHRASE USED インジケーターがしばらく点滅します。

PHRASE USED インジケーターの点滅中に電源を切ると、保存しているデータがすべて失われてしまいます。

PHRASE USED インジケーターの点滅中には、絶対に電源を切らないでください。

トラブル防止のため、空のフレーズ・トラックがある場合には、空のフレーズ・トラックが選ばれている状態で電源を入れるようにしてください。

音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っても、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電池だけで使用する場合、電池が消耗してくるとインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。

重要 < 電源を切るときの注意 >

電源を切るときは、以下の状態であることを必ず確認してください。不用意に電源を切ると、保存しているデータがすべて失われます。

- フレーズの再生 / 録音 / オーバーダビングをしていない
（REC、PLAY、OVERDUB のインジケーターが消灯している）
- WRITE インジケーターおよび EXIT インジケーターが消灯している
- PHRASE USED インジケーターが点滅していない

トラブル防止のため、空のフレーズ・トラックがある場合には、空のフレーズ・トラックが選ばれている状態で電源を切るようにしてください。

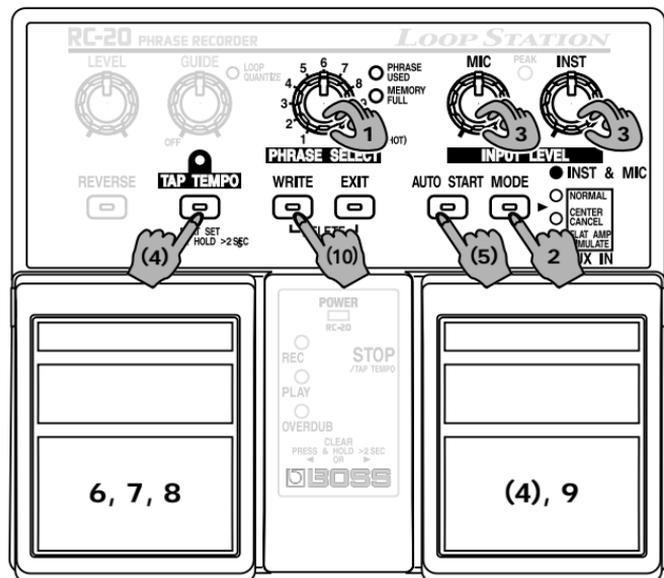
また、電池で使用する場合、OUTPUT ジャックからアンプやスピーカーなどの接続プラグを抜くと、自動的に電源が切れます。接続プラグを抜くときは、上記の状態にあることを確認してください。

ギターやボーカルの演奏を録音してフレーズ・ループを作る



本機では、録音したフレーズを再生しながら、それに合わせて別の演奏を重ねて記録することを**オーバーダビング**と呼びます。

INST ジャックや MIC ジャックに接続した楽器やマイクを使った演奏を録音して、フレーズ・ループを作ります。ギターとパーカッション、ドラム・パッドなどの演奏を組み合わせた新たなサウンド・オン・サウンドが楽しめます。



1. 空のフレーズ・トラックを選択
2. 録音方法の選択
3. 録音レベルを調節
4. (テンポ設定) テンポに合わせて録音する場合
5. (オート・スタートの設定) 演奏開始タイミングに合わせて録音開始する場合
6. 録音開始
7. 録音終了、再生開始
8. オーバーダビング開始 / 終了
9. 再生終了
10. (フレーズ保存) フレーズを保存しておく場合

1. PHRASE SELECT つまみを回して、空のフレーズ・トラック 1 ~ 10 (PHRASE USED インジケーターが消灯) を選びます。
空のフレーズ・トラックがないときや、MEMORY FULL インジケーターが点灯してこれ以上フレーズを記録できないときは、不要なフレーズを消去してください (P.23)。
2. MODE ボタンを押して、INST & MIC インジケーターを点灯させます。
3. 音を鳴らしながら MIC つまみまたは INST つまみを回して、録音レベルを調節します。PEAK インジケーターが時々点灯するような音量にします。
4. 録音するフレーズのテンポに合わせて、TAP TEMPO ボタン / 右ペダルを数回押してテンポを設定します。
テンポの設定に関する詳細は「テンポを設定する」(P.24) をご覧ください。
4/4 以外の拍子のフレーズを録音するときは、拍子も設定します (P.25)。
5. 演奏を始めると同時に録音を開始するときは、AUTO START ボタンをオン (インジケーター点灯) にします。
6. 左ペダルを踏んで、録音を開始します。
オート・スタートがオンの時は、演奏が始まると同時に録音が始まります。
テンポを設定しているときは、左ペダルを踏んでから 1小節経過して録音が始まります。
テンポを設定していないときは、左ペダルを踏むと同時に録音が始まります。
本体メモリー不足のため、録音やオーバーダビングが途中で終了してしまうことがあります。このような場合は不要なフレーズを消去 (P.23) してから、操作をし直してください。
7. 左ペダルを踏んで、録音を終えます。
同時に録音したフレーズの再生が始まります。
左ペダルを踏むタイミングに関わらず、正しいループ・フレーズを作るためにフレーズの長さを小節単位に自動的に補正します (ループ・クオンタイズ P.25)。
このため、左ペダルを踏んでから録音が終了するまでに多少時間がかかることがあります。
極端に短いフレーズを録音した場合、自動的にフレーズの長さを調整してから録音を終了します (P.27)。
8. フレーズに合わせてオーバーダビングするときは、左ペダルを踏みます。
左ペダルを踏むたびに、再生とオーバーダビングの状態が切り替わります。
9. 再生やオーバーダビングを終えるときは、右ペダルを踏みます。
10. WRITE ボタンを押して、インジケーターを点滅させます。そのまま保存をしてよければ、もう一度 WRITE ボタンを押します。
別のフレーズ・トラックに保存するときは、WRITE ボタンを押してインジケーターを点滅させた後に PHRASE SELECT つまみで保存先を選び、その後もう一度 WRITE ボタンを押します。
保存についての詳細は「フレーズを保存する」(P.23) をご覧ください。

1. PHRASE SELECT つまみを回して、空のフレーズ・トラック 1 ~ 10 (PHRASE USED インジケーターが消灯) を選びます。
空のフレーズ・トラックがないときや、MEMORY FULL インジケーターが点灯してこれ以上フレーズを記録できないときは、不要なフレーズを消去してください (P.23)。
2. MODE ボタンを押して、録音のしかたを決めます。
 - NORMAL+FLAT AMP SIMULATE
フラット・アンプ・シミュレーター効果をつけて録音します。
 - CENTER CANCEL+FLAT AMP SIMULATE
中央に定位している音を消した後、フラット・アンプ・シミュレーター効果をつけて録音します。
中央に定位している音にリバースなどのエフェクト処理をしている場合は、十分に消えないことがあります。
 - NORMAL
CD や MD などの演奏をそのまま録音します。
 - CENTER CANCEL
中央に定位している音 (ボーカル、ギター・ソロなど) を消して録音します。

フラット・アンプ・シミュレーター効果

ギター・アンプは、ギターの演奏が最適になるような周波数特性で設計されています。そのため、CD や MD などから録音したフレーズをギター・アンプで鳴らした場合、中音域に比べ低音域と高音域が強調されます。そこで、ギター以外の演奏をギター・アンプで正しく鳴らすために、録音時に補正を行います。

3. CD / MD を再生させながら、CD / MD プレーヤーのボリュームで録音レベルを調節します。
PEAK インジケーターが時々点灯するような音量にします。
音量の調整が終わったら、CD / MD プレーヤーを一旦停止させ、再生待機状態にします。
4. 録音するフレーズのテンポに合わせて、TAP TEMPO ボタン / 右ペダルを数回押してテンポを設定します。
テンポの設定に関する詳細は「テンポを設定する」(P.24) をご覧ください。
4/4 以外の拍子のフレーズを録音するときは、拍子も設定します (P.25)。
5. CD / MD の再生と同時に録音を開始するときは、AUTO START ボタンをオン (インジケーター点灯) にします。

6. 左ペダルを踏んで、録音を開始します。

AUTO START ボタンがオンの時は、CD / MD の再生が始まると同時に録音が始まります。

AUTO START ボタンがオフの時は、左ペダルを踏むと同時に録音が始まります。CD / MD の音に合わせて、左ペダルを踏みます。

本体メモリー不足のため、録音やオーバーダビングが途中で終了してしまうことがあります。このような場合は不要なフレーズを消去 (P.23) してから、操作をし直してください。

7. 左ペダルを踏んで、録音を終わめます。

同時に録音したフレーズの再生が始まります。また、自動的にフレーズのテンポが設定されます。

テンポの自動設定では、拍子を 4/4 として換算しています。異なる拍子のフレーズを録音する場合は、録音終了後にテンポを設定し直してください (P.24)。

極端に短いフレーズを録音した場合、自動的にフレーズの長さを調節してから録音を終了します (P.27)。

8. WRITE ボタンを押して、インジケーターを点滅させます。このとき、自動的に再生が止まります。そのまま保存をしてよければ、もう一度 WRITE ボタンを押します。

別のフレーズ・トラックに保存するときは、WRITE ボタンを押してインジケーターを点滅させた後に PHRASE SELECT つまみで保存先を選び、その後もう一度 WRITE ボタンを押します。

保存についての詳細は「フレーズを保存する」(P.23)をご覧ください。



ここでフレーズをいったん保存しておくことをお奨めします。以降のオーバーダビングの内容が気に入らなかった場合、オーバーダビングのみをキャンセルすることができるからです。

9. MODE ボタンを押して、オーバーダビングのしかたを選択します。

操作 2 と同様にオーバーダビングのしかたを選びます。ギターやマイクからの演奏をオーバーダビングするときは、INST & MIC を選択します。

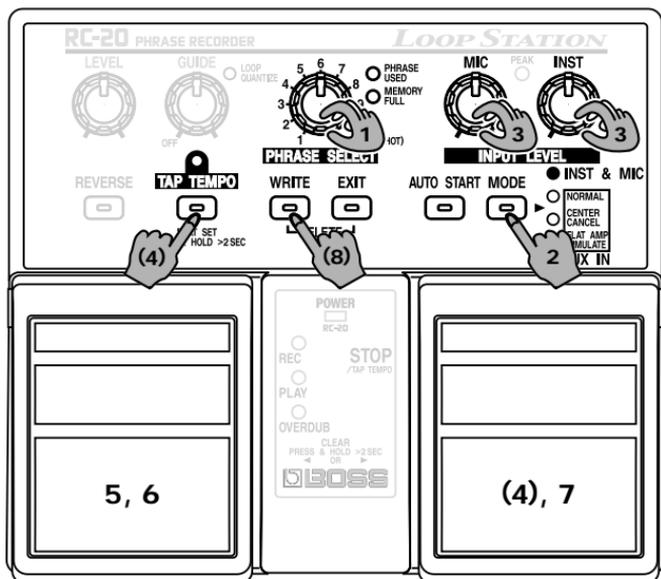
10. 左ペダルを踏んで、再生を始めます。

11. フレーズに合わせてオーバーダビング (P.10) するときは、左ペダルを踏みます。左ペダルを踏むたびに、再生とオーバーダビングの状態が切り替わります。

12. 再生やオーバーダビングを終えるときは、右ペダルを踏みます。

メモ ...

保存したフレーズに合わせて演奏 / オーバーダビングする



1. フレーズ・トラックを選択する
2. 録音方法の選択
3. 録音レベルを調節
4. (テンポの変更)
5. 再生開始
6. オーバーダビング開始 / 終了
7. 再生終了
8. (フレーズ保存)

1. PHRASE SELECT つまみを回して、目的のフレーズが保存されているフレーズ・トラックを選びます。
2. MODE ボタンを押して、INST & MIC インジケータを点灯させます。
3. MIC つまみまたは INST つまみを回して、録音レベルを調節します。
4. 必要であれば、TAP TEMPO ボタンを数回押してテンポを変更します。
TAP TEMPO ボタンの代わりに、右ペダルを踏んでテンポを変更することもできます。
テンポの設定に関する詳細は「テンポを設定する」(P.24)をご覧ください。
基準範囲外のテンポに変更することはできません。
5. 左ペダルを踏んで、再生を始めます。
6. フレーズに合わせてオーバーダビングするときは、左ペダルを踏みます。
左ペダルを踏むたびに、再生とオーバーダビングの状態が切り替わります。
本体メモリー不足のため、オーバーダビングが途中で終了してしまうことがあります。このような場合は不要なフレーズを消去 (P.23) してから、操作をし直してください。
7. 再生やオーバーダビングを終えるときは、右ペダルを踏みます。
8. WRITE ボタンを押して、インジケータを点滅させます。そのまま保存をしてよければ、もう一度 WRITE ボタンを押します。
別のフレーズ・トラックに保存するときは、WRITE ボタンを押してインジケータを点滅させた後に PHRASE SELECT つまみで保存先を選び、その後もう一度 WRITE ボタンを押します。
保存についての詳細は「フレーズを保存する」(P.23)をご覧ください。
オーバーダビングの状態のままループを繰り返していると、不要なノイズも繰り返し録音されてしまいます。フレーズを録音するときだけオーバーダビング状態にしてください。

練習に活用する～フレーズ・トレーナー～

CD や MD などの曲を録音するとき、中央で鳴っているボーカルやギター・ソロなどの演奏を消して録音することができます。この機能を使えば、練習用のマイナス・ワン・データを簡単に作ることができます。

また、フレーズの再生中にテンポを変えることができます。MTR とは異なり、曲のテンポを変えてもピッチは変わりませんので、テンポを遅くして練習するときに便利です。

マイナス・ワン・データを作る

1. PHRASE SELECT つまみを回して、空のフレーズ・トラック 1 ~ 10 (PHRASE USED インジケーターが消灯) を選びます。
空のフレーズ・トラックがないときや、MEMORY FULL インジケーターが点灯してこれ以上フレーズを記録できないときは、不要なフレーズを消去してください (P.23)。
2. MODE ボタンを押して、録音のしかたを決めます。
マイナス・ワン・データを作るときは、「CENTER CANCEL」または「CENTER CANCEL+FLAT AMP SIMULATE」を選びます (P.13)。
中央に定位している音にリバースなどのエフェクト処理をしている場合は、十分に消えないことがあります。
3. 録音するフレーズのテンポに合わせて、TAP TEMPO ボタン / 右ペダルを数回押してテンポを設定します。
4. 演奏を始めると同時に録音を始めるときは、AUTO START ボタンをオン (インジケーター点灯) にします。
5. 左ペダルを踏んで、録音を開始します。
本体メモリー不足のため、録音やオーバーダビングが途中で終了してしまうことがあります。このような場合は不要なフレーズを消去 (P.23) してから、操作をし直してください。
6. 録音を終わるときは、右ペダルを踏みます。
録音を終わると、自動的にフレーズのテンポが設定されます。
テンポの自動設定では、拍子を 4/4 として換算しています。異なる拍子のフレーズを録音する場合は、録音終了後にテンポを設定し直してください (P.24)。

7. WRITE ボタンを押して、インジケーターを点滅させます。そのまま保存をしてよければ、もう一度 WRITE ボタンを押します。

別のフレーズ・トラックに保存するときは、WRITE ボタンを押してインジケーターを点滅させた後に PHRASE SELECT つまみで保存先を選び、その後もう一度 WRITE ボタンを押します。

保存についての詳細は「フレーズを保存する」(P.23)をご覧ください。

テンポを変えて練習する

フレーズの再生中にテンポを変えるときは、テンポに合わせて TAP TEMPO ボタンを数回押します。

フレーズのテンポが一時的に変わります。

テンポの変更に関して詳しくは「テンポを設定する」(P.24)をご覧ください。

基準範囲外のテンポに変更することはできません。



変更後のテンポを残しておきたい場合はフレーズを保存します (P.23)

さまざまな再生のしかた

ペダルを使ってフレーズを切り替える(フレーズ・シフト)

フレーズの再生中、PHRASE SHIFT ジャックに接続したペダル・スイッチを踏むことによって、次のナンバーのフレーズ・トラックに切り替えることができます。フレーズは演奏の順番に沿って、フレーズ・トラックに記録しておくことで便利です。

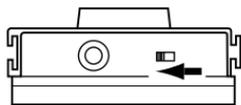


イントロ ループ エンディングの順番でフレーズを記録しておけば、フレーズ・シフトを使って、より完成度の高いループ演奏を行うことができます。

1. FS-5U、Roland DP-2 などのペダル・スイッチ (別売) を PHRASE SHIFT ジャックに接続します (P.8)

他社製のペダル・スイッチには動作が逆になるものがあります。このようなペダル・スイッチは使用できません。

FS-5Uをお使いになる場合は、ポラリティー・スイッチをジャック側に合わせます。



FS-5L は使用できません。

2. PHRASE SELECT つまみを回して、一番始めに再生するフレーズを選びます。
3. 左ペダルを踏んで、フレーズの再生を始めます。
4. フレーズを切り替えたいタイミングが近づいたら、ペダル・スイッチを踏みます。現在再生中のフレーズがループ・スタートへ戻るタイミングで、次のナンバーのフレーズに切り替わります。同一のフレーズの再生中にペダルを複数回踏んでも、次のナンバーのフレーズにのみ切り替わります。ナンバー 10 までフレーズを切り替えると、それ以降ペダル・スイッチを踏んでもフレーズを切り替えることはできません。
5. 右ペダルを踏んで再生を終わめます。

再び再生を始めたときは、PHRASE SELECT つまみで選ばれているフレーズが再生されます。

PHRASE SELECT つまみの操作で、フレーズ・シフトを行うこともできます。



フレーズ再生中に、PHRASE SELECT つまみを回して次に再生させたいフレーズ・トラックに切り替えておくと、現在再生中のフレーズがループ・スタートへ戻るタイミングで、次のフレーズに切り替わります。

フレーズを逆再生する（リバース再生）

録音したフレーズの最後から先頭に向かって再生することを「リバース再生」と呼びます。テープを逆回転させたような再生になります。

REVERSE ボタンを押してインジケーターを点灯させると、リバース再生ができる状態になります。通常の再生に戻すときは、インジケーターを消灯させます。

思いがけない効果が得られますので、ライブ時のギミックなどとして使うとよいでしょう。

REVERSE ボタンがオンの状態でフレーズを保存すると、ボタンの状態も同時に保存されます。常にリバース再生したいフレーズは REVERSE ボタンをオンにして保存するとよいでしょう。

リバース再生のフレーズに対してオーバーダビングをした場合、オーバーダビングした音は通常再生で録音されます。



REVERSE ボタンの代わりに、ペダル・スイッチでリバース再生をコントロールすることができます。

FS-5U、Roland DP-2 などのペダル・スイッチ(別売)を REVERSE ジャックに接続します (P.8)。

他社製のペダル・スイッチには動作が逆になるものがあります。このようなペダル・スイッチは使用できません。

FS-5U をお使いになる場合は、ポラリティー・スイッチをジャック側に合わせます。

FS-5L は使用できません。

フレーズを一度だけ再生する（ワン・ショット再生）

フレーズ・トラック 1 ~ 10 に保存したフレーズは、右ペダルで停止をするまでフレーズの先頭から最後までを繰り返し（ループ）再生を続けます。これに対し、フレーズ・トラック 11 に保存したフレーズは、フレーズの先頭から最後までを 1 度だけ再生して、自動的に止まります。

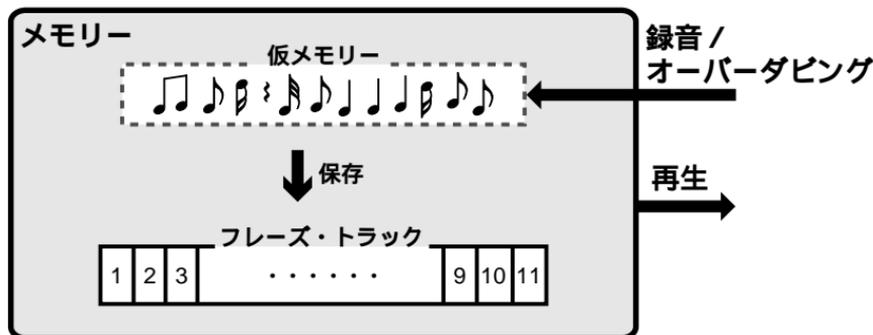
この特長を活かして、フレーズ・トラック 11 には、ライブでツイン・ギターのソロを演奏するときのフレーズや、効果音などを保存しておくといよいでしょう。

フレーズ・トラック 11 では、オーバーダビング操作は行えません。再生中に左ペダルを踏むと、フレーズ先頭から再び再生が開始されます。（オーバーダビングについては、他フレーズ・トラックへコピーすることで行えます。）

フレーズの保存と消去

メモリーについて

本体メモリーは、フレーズ・トラック1～11と仮メモリーの2つに分かれています。



録音したり、オーバーダビングしたりしたフレーズは、いったん仮メモリーに記録されます。

仮メモリーに記録されたフレーズは一時的なものなので、以下のような操作をすると失われてしまいます。操作をする前に、大切なフレーズはフレーズ・トラックに保存してください (P.23)。

- 電源を切る
- 別のフレーズ・トラックを選ぶ
- 保存前に別のオーバーダビングを始める

メモ 仮メモリー上のフレーズのみを消去 (クリア) するには、左または右ペダルを2秒以上押します。

フレーズ・トラックとは

フレーズ・トラックとは、フレーズを本体メモリー内に保存しておくための領域です。ここに保存したフレーズは電源を切っても消えません。また、ここに保存されたフレーズは、PHRASE SELECT つまみでいつでも呼び出すことができます。

フレーズ・トラック1～11に保存できるフレーズの長さは、最大で5分30秒です。

フレーズ・トラック1～10：ループ・フレーズを保存します。

フレーズ・トラック11：ワンショット・フレーズを保存します。

メモ **ライト・プロテクト・モード**
一時的にフレーズの保存や消去ができない状態にすることができます。WRITE ボタンを押しながら電源を入れます。電源を切るとこの状態は解除され、次回電源投入時は保存や消去ができる状態に戻ります。

フレーズを保存する

録音 / オーバーダビングを終えた後や、テンポなどフレーズの設定を変えた後は、保存を行います。

 フレーズの保存をする前に電源を切ったり、別のフレーズ・トラックを
選んだり、別のフレーズをオーバーダビングしたりすると、保存前のフ
レーズはすべて失われます。

1. **WRITE ボタンを押して、インジケーターを点滅させます。**
保存準備状態になります。
コピーする場合は、コピー元のフレーズ・トラックを選び、WRITE ボタンを押します。
2. **PHRASE SELECT つまみで保存先のフレーズ・トラックを選択します。**
すでにフレーズが保存されている別のフレーズ・トラック（PHRASE USED インジケーター点灯）には保存することはできません。
3. **もう一度 WRITE ボタンを押して、保存をします。**
保存中はインジケーターが点灯し、保存が終了するとインジケーターは消灯します。
保存を中止するときは、EXIT ボタンを押します。ただし、PHRASE SELECT つまみを回して他のフレーズ・トラックを選んでいた場合は、EXIT ボタンを押した時点で録音したフレーズが消えて、選ばれているフレーズに切り替わります。

 WRITE インジケーターや EXIT インジケーターが点灯している間は絶対に本体の電源を切らないでください。フレーズ・トラックに保存されているデータがすべて失われます。

保存したフレーズを消去する（デリート）

1. PHRASE SELECT つまみを回して、消去するフレーズ・トラックを選びます。
2. **WRITE ボタンと EXIT ボタンを同時に押して、2つのインジケーターを点滅させます。**
消去準備状態になります。
3. **もう一度 WRITE ボタンと EXIT ボタンを押して、消去します。**
消去中はインジケーターが点灯し、消去が終了するとインジケーターは消灯します。

 WRITE インジケーターや EXIT インジケーターが点灯している間は絶対に本体の電源を切らないでください。フレーズ・トラックに保存されているデータがすべて失われます。

消去を中止するときは、EXIT ボタンを押します。

すべてのフレーズ・トラックを一度に消去することはできません。

テンポと拍子について

本機ではフレーズごとにテンポと拍子が設定できます。これらに合わせて、ガイド音が鳴ったり、ループ・クオンタイズをしたりします。したがって、テンポと拍子を録音前に設定しておけば、正しいループ・フレーズが簡単にできます。

拍子の初期値は 4/4 です。拍子が 4/4 のフレーズを録音するときは、拍子を設定する必要はありません。

テンポの自動設定について

以下の場合、録音終了後にフレーズのテンポが自動設定されます。

- テンポを設定せずに AUX IN ジャックに接続した機器からの演奏を録音した場合
- テンポを設定せずに INST / MIC ジャックに接続した楽器またはマイクの演奏を録音した場合

テンポの自動設定では、拍子を 4/4 として換算しています。異なる拍子のフレーズを録音する場合は、録音終了後に以下の操作でテンポを設定し直してください。

テンポを設定する

INST / MIC ジャックに接続した楽器またはマイクの演奏を録音するときは、録音前にテンポの設定をしておきます。

また、保存したフレーズを再生させるときには、再生テンポを変更することができます。

再生テンポを変えてフレーズを保存すると、変更後のテンポが記録されます。保存しないと、変更後のテンポは失われます。

1. PHRASE SELECT つまみを回して、目的のフレーズ・トラックを選びます。
新しいフレーズを録音するときは、録音先のフレーズ・トラックを選びます。
2. 設定したいテンポに合わせて、TAP TEMPO ボタンを数回押します。

ボタンを押した間隔に対応してテンポが設定されます。

TAP TEMPO ボタンの代わりに、右ペダルでテンポを設定することもできます。ただし、フレーズの再生中は右ペダルでテンポを設定することはできません。

テンポを変更する場合、変化の割合に制限があります。

直前に選んだフレーズと同じテンポで新たにフレーズを録音する場合は、TAP TEMPO ボタン / 右ペダルを 1 回押します。

テンポの設定を行わずに録音を開始すると、ループ・クオンタイズ機能をキャンセルした状態でループ・フレーズを作成することができます。



仮メモリーにフレーズが記録されている状態で、テンポの設定 / 変更はできません。テンポの設定 / 変更ができない場合は、仮メモリーに記録されているフレーズを消去(クリア)してから操作をし直してください(P.22)。

拍子を設定する

4/4 以外の拍子のフレーズを録音するときは、録音前に拍子を設定しておきます。

録音後に拍子を設定し直すことはできません。

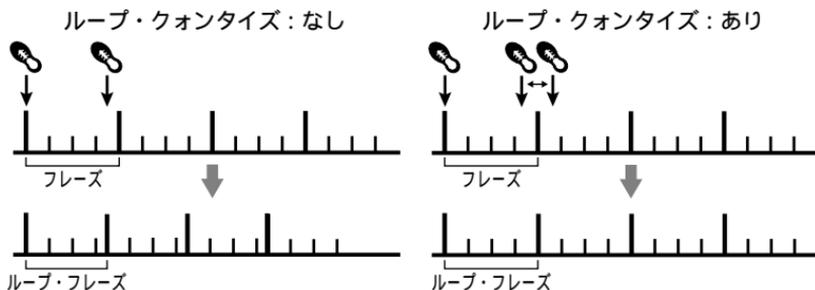
分母が 4 以外の拍子を設定することはできません。

1. PHRASE SELECT つまみを回して、録音先のフレーズ・トラックを選びます。
2. TAP TEMPO ボタンを 2 秒以上押します。
インジケーターが点滅した後に消灯したら、拍子が設定できる状態になります。
3. 設定したい拍子の数だけ、TAP TEMPO ボタンを押します。
4. 拍子の設定が終わるとインジケーターが点滅し、自動的にテンポが設定できる状態に戻ります。

ループ・クオンタイズとは

正確なループ・フレーズを作るためには、フレーズの録音を終了するタイミングが重要です。従来は、正確なタイミングで録音を終了させるために、ペダル操作の練習が必要でした。

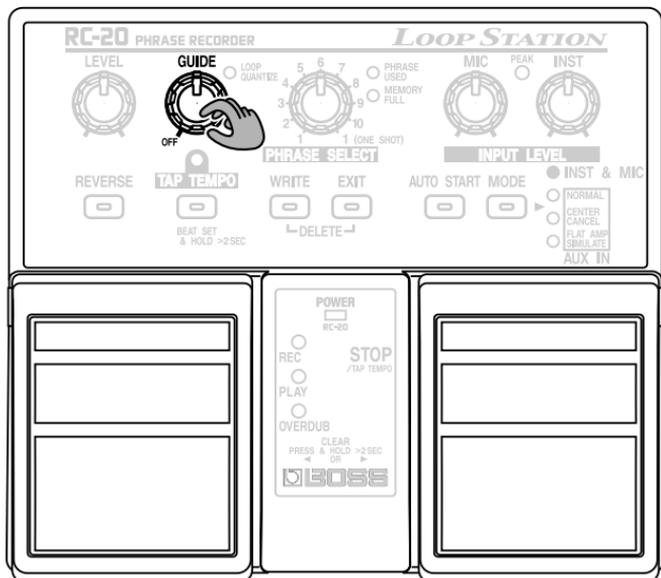
本機のループ・クオンタイズは、録音終了のタイミングが多少ずれても、テンポ情報をもとに自動的にフレーズの長さを補正することによって、正しいループ・フレーズを作り出すという新機能です。



ループ・クオンタイズは、録音前にテンポが設定してある場合にのみ有効 (LOOP QUANTIZE インジケーター点灯) になります。録音前にテンポが設定されていない場合、オーバーダビング時には無効 (LOOP QUANTIZE インジケーター消灯) になります。

ガイド音について

フレーズの再生 / 録音中は、ガイド音が鳴ります。



ガイド音の音量は、GUIDE つまみで調整できます。

ガイド音を鳴らしたくないときは、GUIDE つまみを OFF に合わせます。

ガイド音の音色を変えたいときは、EXIT ボタンを押しながら TAP TEMPO ボタンを数回押します。TAP TEMPO ボタンを押すたびに、ガイド音（4 種類）が切り替わります。

フレーズの保存（P.23）をすると、そのときに選ばれているガイド音も記憶されます。



テンポが設定されていないフレーズを録音をする場合、ガイド音は鳴りません。ただし、録音終了時にはテンポが自動計算されるので、再生時にはガイド音が鳴るようになります。

故障と思う前に

電源が入らない

- **OUTPUT ジャックにアンプまたはスピーカーが接続されていますか？**
電池使用時は、OUTPUT ジャックにアンプやスピーカーなどが接続されていないと、電源がオンになりません。接続を確認してください (P.8)。
- **電池が消耗していませんか？**
新しい電池と交換してください (P.7)。
- **指定の AC アダプター (PSA-100 : 別売) が正しく接続されていますか？**
接続をもう一度確認してください (P.8)。

音が出ない / 小さい

- **他の機器と正しく接続されていますか？**
接続をもう一度確認してください (P.8)。
- **接続しているギター・アンプやその他の楽器などのボリュームが下がっていませんか？**
接続機器の設定を確認してください。
- **抵抗入りの接続ケーブルを使用していますか？**
抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。

録音 / オーバーダビングした音が出ない / 小さい

LEVEL つまみで音量を調節してください。

ガイド音が出ない / 小さい

GUIDE つまみで音量を調節してください。ガイド音が出るのは、次の場合です。

- フレーズの録音前にテンポを設定したとき
- フレーズを再生しているとき

録音 / オーバーダビングが途中で終わってしまう

メモリ不足です。不要なフレーズを消去 (P.23) してから、録音 / オーバーダビングを行ってください。

ペダルを踏んでも、すぐに録音が終了しない
ループ・クオンタイズによる録音、または極端に短いフレーズを録音したときは、フレーズの長さを自動調節するため、ペダルを踏んでもすぐに録音が終了しないことがあります。

オート・スタート機能をオンにしているのに、録音がすぐに始まってしまう

ディストーションなどによりノイズが多くなっている場合は、そのノイズにより録音が始まってしまうことがあります。ディストーションのレベルを下げるなどして、ノイズを小さくしてください。

録音時間が余っているはずなのに、MEMORY FULL インジケーターが点灯する
次のような場合には、オーバーダビングするための仮メモリ (P.22) をフレーズとは別に確保しています。最大録音時間は仮メモリも含んでいるため、MEMORY FULL インジケーターが点灯することがあります。

- フレーズを選んだとき
- 再生テンポを変更したとき
- ライト操作したとき

非常に短いフレーズを録音すると、そのままでの長さで録音されていない

ループ・フレーズの最小録音時間は約 1.5 秒です。これよりも短い時間で録音を終了すると、最小録音時間を超えるようになるまで自動的にフレーズの長さが 2 倍、4 倍、8 倍...に調整されます。

主な仕様

規定入力レベル

INST : -20 dBu (可変)
MIC : -40 dBu (可変)
AUX IN : -10 dBu

入力インピーダンス

INST : 1 M
MIC : 1 k
AUX IN : 47 k

規定出力レベル

OUTPUT : -20 dBu

出力インピーダンス

1 k

推奨負荷インピーダンス

10 k 以上

録音・再生

最大録音時間 : 5分30秒
最大保存フレーズ数 : 10ループ・フレーズ +
1ワン・ショット・フレーズ

コントロール

REC/PLAY/OVERDUB ペダル、
STOP/TAP TEMPO ペダル、
INST つまみ、MIC つまみ、
PHRASE SELECT つまみ、
GUIDE つまみ、LEVEL つまみ、
REVERSE ボタン、TAP TEMPO ボタン、
WRITE ボタン、EXIT ボタン、
AUTO START ボタン、MODE ボタン

インジケーター

POWER (バッテリー・チェック兼用)
REC、PLAY、OVERDUB、PEAK、
PHRASE USED、MEMORY FULL、
LOOP QUANTIZE、TAP TEMPO、REVERSE、
WRITE、EXIT、AUTO START、INST & MIC、
NORMAL、CENTER CANCEL、
FLAT AMP SIMULATE

0 dBu = 0.775 V rms

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書の英語版 (有料) をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。

If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

接続端子

INST ジャック
MIC ジャック
AUX IN ジャック (ステレオ・ミニ・タイプ)
PHRASE SHIFT ジャック
REVERSE ジャック
OUTPUT ジャック

電源

DC 9V : 単3乾電池 × 6
または AC アダプター (PSA-100 ; 別売)

消費電流

85 mA (9V 最大時)
連続使用時の電池の寿命
(使用状態によって異なります)
マンガン電池 約9時間
アルカリ電池 約25時間

外形寸法

173 (幅) × 158 (奥行) × 57 (高さ) mm

重量

1.2 kg (電池含む)

付属品

取扱説明書
単3乾電池 × 6
愛用者カード
サービスの窓口
Sound Library for RC-2(サンプルフレーズ集 CD)

別売品

AC アダプター (PSA-100)
フット・スイッチ (FS-5U、Roland DP-2)

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	⊕は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、⊕の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



この機器および AC アダプターを分解したり、改造したりしないでください。



修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



警告

次のような場所での使用や保存はしないでください。



温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）



水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所

雨に濡れる場所
ホコリの多い場所
振動の多い場所

必ずお読みください 「安全上のご注意」

警告

この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



AC アダプターは、必ず指定のもの (PSA-100) を、AC100V の電源で使用してください。



電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。



この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



この機器に、異物 (燃えやすいもの、硬貨、針金など) や液体 (水、ジュースなど) を絶対に入れないでください。



次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。



AC アダプター本体や電源コードが破損したとき
異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
機器が (雨などで) 濡れたとき
機器に異常や故障が生じたとき

警告

お客様のいるご家庭で使用する場合、お客様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視 / 指導してあげてください。



この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量 (ワット / アンペア) を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。



外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



電池は、充電、加熱、分解したり、または火や水の中に入れてしないでください。



⚠ 注意

この機器と AC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。



AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ず AC アダプターの本体やプラグを持ってください。



長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。



接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。



濡れた手で AC アダプターの本体やプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。



この機器を移動するときは、AC アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。



お手入れをするときには、電源を切って AC アダプターをコンセントから外してください (P.8)。



⚠ 注意

落雷の恐れがあるときは、早めに AC アダプターをコンセントから外してください。



電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください (P.7)。



電池の+と-を間違えないように、指示どおり入れてください。



新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。



液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。

電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。

使用済みの電池は、あなたの地域のゴミ分別収集のしかたに従って、捨ててください。



使用上のご注意

29 ~ 31 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源、電池のセットや交換について

雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。

AC アダプターを長時間使用すると AC アダプター本体が多少発熱しますが、故障ではありません。

この機器は消費電流が大きいので、AC アダプターの使用をお勧めします。電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前に行なってください。

この機器には、電池が付属されています。この電池は、機器の動作確認用のため、寿命が短い場合があります。

接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

設置について

この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。

テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。

故障の原因になりますので、雨や水に濡れる場所で使用しないでください。

お手入れについて

通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

お客様がこの機器や AC アダプターを分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。

当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップとして MD などに保存しておいてください。

本体メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。

ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。

音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。

輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。

著作権について

第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、公演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音し、配布、販売、貸与、公演、放送などを行うことは法律で禁じられています。

第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本機を使用しないでください。あなたが本機を用いて他者の著作権を侵害しても、ボス/ローランドは一切責任を負いません。

付属の CD について

本製品に付属しているサンプルフレーズ集 CD “ Sound Library for RC-20 ” を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。権利者に無断でこれらのデータの複製を作ったり、二次的著作物で利用したりしてはいけません。

© 2001 ボス株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

索引

- A**
AUTO START 11, 13, 18
- C**
CENTER CANCEL 13, 18
- F**
FLAT AMP SIMULATE 13
- お**
オート・スタート 11, 13, 18
オーバーダビング 10 ~ 11, 14
- か**
ガイド音 26
- く**
クリア 22
- さ**
最小録音時間 27
再生 11, 14, 17
サウンド・オン・サウンド 10
- し**
消去
 仮メモリー上のフレーズのみを消去 ... 22
 フレーズ・トラックのデータを消去 ... 23
- せ**
センター・キャンセル 13, 18
- て**
デリート 23
テンポの設定 24
テンポの変更 19
- ひ**
拍子の設定 25
- ふ**
フラット・アンプ・シミュレーター 13
フレーズ・シフト 20
フレーズ・トラック 22
フレーズ・トレーナー 18
- ほ**
保存 23
- ま**
マイナス・ワン・データ 18
- ら**
ライト・プロテクト・モード 22
- り**
リバース再生 21
- る**
ループ・クォンタイズ 11, 25
- ろ**
録音
 AUX IN ジャックに接続した機器 12
 INST / MIC ジャックに接続した機器 11
- わ**
ワン・ショット再生 21

 **BOSS**

ボス株式会社

発売元：ローランド株式会社

G6017295